

FOUN Sing for Smile Program



『国連の友／日本プロ野球名球会 被災地支援活動』 Vol.2

名球会 理事 山田久志 2012年6月10日～

2012年6月10日、「心のケア」を目的とした支援活動“FOUN Sing for Smile Program”に山田久志理事が岩手県陸前高田、大船渡市の被災地に入りました。



先ず、甚大な被害を受けた陸前高田市に向かい戸羽太 陸前高田市長と共に旧市庁舎（津波被害を受けた市庁舎跡）等を視察しました。

戸羽市長より震災から1年3カ月を経過しても、復興・復旧にはまだまだ時間と支援が必要であることの説明と子供達への「心のケア」の必要性を訴えられました。



戸羽市長と陸前高田旧市庁舎を視察し、被災地で抱えている問題等の説明を受けました

更に戸羽市長より「陸前高田市だけでも、40数名の震災孤児がいます。多くは親戚等に引き取られていますが、新しい環境に大人も子供達も慣れたとはいえません。また他の被災した子供達は一見笑顔を取り戻したように見えても、その心に大きな傷を抱えています。子供達には“夢をあきらめないで欲しい”と願っていますが、精神的に支えるものが必要なのです。この陸前高田市を中心に岩手県は野球が盛んな地域です。そんな地域で、誰もが憧れ、誰もが応援した名球会の方々が直接お見えになり、子供達と交流を持ってもらえることは何よりの支えになりますし、大人達の心も高揚するはずです。」とのお話を頂きました。

山田理事からは「今回、被災地の現状を目の当たりにし名球会としても、もっと被災地に足を向けて現実を直視する重要性を再認識しました。名球会として可能な限りご協力させて頂きます。」と話しました。



戸羽市長と支援策について話し合う山田理事

次に大船渡市役所に向かい、戸田大船渡市長を訪問致しました。



大船渡市役所



大船渡市役所 会議室にて

戸田公明 大船渡市長からは、事業・土地活用の復興計画の説明等を受けました。また戸田市長からも「心のケア」の重要性と必要性に関し、以下のお話を頂きました。



現状を説明する戸田公明 大船渡市長

「3月11日に被災し、ガレキの山に阻まれ、ようやく避難所巡りが出来たのは14日でした。最初の1週間は水・食料・毛布等の物資に困窮しておりました。2-3週間目はガソリンでした。4月上旬になると生活水準の向上と並び「心のケア」が大きな問題となりました。しかし、「心のケア」は物とは違い、人生をかけて癒していかなければならず、また家族を失った哀しみ、辛さは一人で克服できるものではありません。現在市内39カ所の仮設には生活支援者を1名置き、毎日1回部屋をノックする活動を行っていますが、まだまだ充分ではありません。大人も子供も被災者には“心トキメク”助けが必要です。例えば、子供達は名球会の素晴らしいメンバーの方々に話しをしたり、握手してもらっただけで未来に夢が持てるようになります。名球会の皆さまのご訪問は多くの子供達、大人達の心を躍らせるものであると確信しております。」



戸田市長のお話を受け、山田理事からは「私は縁あって社会人野球を通じて釜石に3年お世話になりました。岩手の方々の忍耐強さ、優しさを充分に知っております。微力ながら名球会のメンバーとして、また一人の人間として尽力させていただきます。」と継続的な支援を約束しました。



名球会山田理事／戸田市長／国連の友Asia-Pacific 金森理事

大船渡市役所を出発した後、現在カラオケカーの設置されている黒土田仮設住宅を訪れ、集会場に集まった入居者の住民との交流会を開きました。



左端は山崎富治自治会長



和やかな雰囲気の中、仮設入居者の方々との談話が行われました



山田理事からは野球を通じて味わった挫折の歴史、人との出会いで齎された人生の転機の話等を、ユーモアを交えて話し、「現在もご不自由な生活をされている皆様ですが、この仮設での出会いが後々人生に大きな意味を齎すのではないかと思います」という言葉には、仮設集会場いっばいの参加者から拍手が起こりました。最後に「私は人生の中で良い出会いを繰り返し、恵まれてきております。皆様との出会いもその一つです。皆様にお会いする為に必ずまた来ます」とメッセージを送りました。



お集まり頂いた仮設住民の皆様と記念撮影

その後、大船渡市で唯一残された野球グラウンド（三陸総合運動公園）に隣接した綾里小学校に向かい、綾里はまっこスポーツ少年団と綾里中学校野球部の少年達にエールを送りました。



また山田理事から、イチロー選手の例を出し「道具を大切にすることは、仲間や周りの人を大切にすることにつながる」等の話に、会場に集まった野球少年達は心ときめかせながら熱い視線を送っていました。陸前高田、大船渡両市より強い要望を受け、名球会では今後も引き続き国連の友と被災地共同支援活動を行って参ります。



綾里はまっこスポーツ少年団と綾里中学校野球部の少年達と記念撮影